

(科目コード : 6000220072Y4)

【改訂】第14版 (2014-09-01)

【科目】美術

【科目分類】 一般科目 【選択・必修の別】 必修

【学期・単位数】 前期・1単位

【対象学科・専攻】 4組 2年

【担当教員】 小林 正

【授業目標】

美術課題の制作を通じて、自己のイメージを表現するための技術的、心情的な基礎能力を養う。正解は一つではないという美術の特性をいかし、それぞれの個性や指向を発揮した主体的な作品作りができること。

【教育方針・授業概要】

課題1：自分のいる風景：現在の自身の姿、将来に対する夢や願望をイメージし、水彩画として表現する。

課題2：平面構成：矩形を直線と曲線で分割し水彩絵の具で着彩する。色の明度、彩度、色相の性質を考慮し配色構成を試みる。

課題3：スーパーリアリズムの絵画：写真をそっくりそのまま手描きで再現する。写真の色をその要素において分析感受し再現する。

課題4：フォトコラージュによる表現：写真印刷物を切り抜き組み合わせ、さらに加筆着彩し現代を象徴する怪物像を表現する。

【教科書・教材・参考書等】

教科書：高校美術1：永井一正 他監修：日本文教出版：9784536102063

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

特になし

【成績評価方法】

[前期]提出された作品の発想や表現の密度、作品に表れた作者の熱意や制作態度により評価する。なお忘れ物、提出期限遅れの作品提出については減点する。

【授業計画】(美術)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回～第4回	課題1：自分の居る風景	第1回 課題説明。アイデアスケッチと鉛筆下書。第2回 下書の完成。第3回 水彩絵の具による着彩。第4回 完成。	作品提出	
第5回～第7回	課題2：平面構成	第5回 直線と曲線による構成の考え方の解説。矩形を直線曲線で分割する。第6回 明度、彩度、色相のそれぞれを考慮した配色法の解説と練習。水彩絵の具により着彩する。第7回 完成。	作品提出	
第8回～第12回	課題3：スーパーリアリズムの絵画	第8回 描く写真部位をカラーコピーし、水彩用紙にチャコペーパーで形や明暗の調子を写し取る。第9回 さらに形を写す。第10回 必要な色をあわせるための方法と考え方の解説。描く部位の色あわせと着彩。第11回 色合わせと着彩。第12回 完成。	作品提出	
第13回～第15回	課題4：フォトコラージュによる表現	第13回 課題説明と写真印刷物の切り抜き。画用紙上で切り抜いた印刷物を組み合わせ、現代を象徴する怪物像を発想する。第14回 描く部位を描き印刷物を貼る。第15回 さらに描き込み完成。作品提出をする。	作品提出	